



news release

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 〒004-8588 札幌市清田区清田一条一丁目2番1号
【URL】 <https://www.hokkaido.ccbc.co.jp/>

報道関係 各位

2025年1月22日

第75回さっぽろ雪まつり「GX 脱炭素エリア・無料休憩所」にて 水素発電ユニットを使用した自動販売機を展開します

北海道コカ・コーラボトリング株式会社(本社：札幌市清田区 代表取締役社長：酒寄正太)は第75回さっぽろ雪まつりにおける「GX脱炭素エリア・無料休憩所」にて、札幌市（所在地：北海道札幌市、市長：秋元 克広）、トヨタ自動車北海道株式会社（所在地：北海道苫小牧市、代表取締役社長：高橋 慎弥）と連携して、水素発電ユニットを使用した自動販売機を展開いたします。当ブースでは、札幌市とその連携企業、団体によって、GX（グリーントランスフォーメーション）推進に関する展示や環境に配慮した取組が行われます。

<< GX脱炭素エリア・無料休憩所詳細 >>

- 日 時：2025年2月4日(火)～2025年2月11日(火)
営業時間：午前9時～午後22時
場 所：札幌市大通公園西三丁目東側 GX脱炭素エリア内
展示内容：①自動販売機3台（うち水素発電ユニットによる給電1台）
②水素ストーブ
③GX取組に関するパネル

本自動販売機は特別なラッピングデザインを施しており、自動販売機本体と発電機から構成されています。発電機に水素カートリッジを装填し、水素と空気中の酸素の化学反応により電気を発生させ、蓄電したバッテリーから送電することで自動販売機が稼働いたします。

また当ブースはGXにおける取り組みを来場者により身近に感じてもらうことを目的としており、トヨタ自動車株式会社の水素で動く燃料電池車「MIRAI」や「CROWN FCEV」から給電される電力によって、ブースならびに2台の自動販売機の電力が補われる仕組みとなっています。



<<水素発電ユニット使用自動販売機デザイン>>

私たち北海道コカ・コーラグループは、「北の大地とともに」をスローガンに、人々にさわやかさと潤いを届ける「どさんこ総合飲料メーカー」として、北海道の豊かな自然と地域ごとに魅力あふれる暮らしを未来につなげるため、「スマイルで暮らせる北海道」を道民の皆様とともに目指します。

<<本件に関するお問い合わせ先>>

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 広報・サステナビリティ推進部

担当：西川 TEL：011-888-2091

<参考> 札幌市との協働の取組みについて

➤ 「さっぽろまちづくりパートナー協定」

札幌市では市民自治の推進を図るために、幅広い政策分野や事業について、ともにまちづくりを担っていくことを合意できた企業と、包括的な連携協定（名称 さっぽろまちづくりパートナー協定）を締結しています。札幌市と当社は以下の4分野を連携の柱とした協定を2009年1月に締結しました。

- (1) 未来を担う子ども達が健やかに育つまちづくり
- (2) 安心・安全で誰もが健康に暮らせる、人と環境にやさしいまちづくり
- (3) 観光・文化・スポーツの振興を通じた、都市の魅力が輝くまちづくり
- (4) 地域の連携・協働を進めるまちづくり

<同協定に基づいた取組み>

- ・ 2009年11月より「さっぽろ雪まつり」を盛り上げることを目的に、「コカ・コーラ」、「コカ・コーラ ゼロ」の「さっぽろ雪まつり応援デザイン缶」を、期間限定で発売し、売上の一部を「さっぽろ雪まつり実行委員会」に寄付。
- ・ 2010年5月より、「YOSAKOI ソーラン祭り」を応援するために、「YOSAKOI ソーラン祭りコカ・コーラ応援デザイン缶」を期間限定で発売し、売上の一部を「YOSAKOI ソーラン祭り組織委員会」に寄付。
- ・ 「区民が主体のまちづくり」の推進を支援する為、札幌市内10区とも、各区の特色を活かした連携事業を展開。
- ・ 安心・安全なまちづくりへの取組みとして、災害時の飲料供給、電光掲示板を搭載する災害対応型自動販売機を活用した防災メッセージの配信や飲料の無償提供など行う他、札幌市主催の防災訓練への参加、その他の防災啓発活動への協働での取組みを実施。

➤ 「環境事業に関する協定」の取組み

札幌市清田区にある「白旗山における森づくり事業」や「札幌市円山動物園における賑わいづくり事業」等を通して、環境啓発活動を相互に連携して取り組んでいくことを柱とした包括協定を2011年6月に締結しました。

<同協定に基づいた取組み>

- ・ 白旗山にて、札幌市森林組合や市民団体などと連携し、長年にわたる森づくりを展開。
- ・ 札幌工場が使う地下水の水源が清田区の白旗山であることから、札幌市と結んだ「環境事業に関する協定」に基づき、白旗山の森づくりを進めています。毎年、当社の社員で植樹活動を行っています。



➤ 「札幌市円山動物園を舞台とした環境協働事業」に関する協定

札幌市円山動物園を舞台として、札幌市民や札幌を訪れる方々に環境問題を考えるきっかけを提供する事を通じて、潤いある環境文化都市の実現に向けた環境協働事業に関する協定を2008年4月に締結しました。

<同協定に基づいた取組み（一部）>

- ・ 2019年3月にオープンした日本最大級のゾウ舎内に、ゾウの生態に関してタッチウォールで見て触って学ぶことができる「ゾウさんのタッチシアター」を開設。
- ・ 2024年5月にオープンした新施設「オランウータンとボルネオの森」に、ボルネオの自然やオランウータンの生態を学ぶことができるインタラクティブコンテンツ「いろ・は・す ビジョン」を寄贈。



➤ 「震災時の消火用水等の供給協力に関する協定」

札幌市において地震等の大災害が発生した場合に、被害を少しでも軽減する為、市民・企業・行政が手を携えて、震災対策の充実強化と、災害時の円滑な消防活動に資することを目的として、2014年3月に協定を締結しました。

当社では、大規模な火災を消火するための消火用水の提供、中長期の消防活動に必要な飲料水の提供等に向けた備えを行っています。

以上